



平成28年6月17日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

生き物とふれ合って ～2016「ホタルにつれられまち歩き」～

6月11日（土）は、おやじの会主催の
「2016年『ホタルにつれられまち歩き』」が行われました。



-
- 18:00～ 受付開始
 - 18:30～ イベント開始 開始のご挨拶、イベント説明等
 - 19:00～ クイズ！もっとホタルを知ろう！
 - 19:15～ めざせ、あんしんあんぜんマスター！
 - 19:30～ 松ヶ崎のまちを歩きホタル観賞開始
 - 20:00～ グループごとに観賞後、順次解散
(今年から現地解散になりました。)
-

受付では、リストバンドや缶バッジをいただきました。

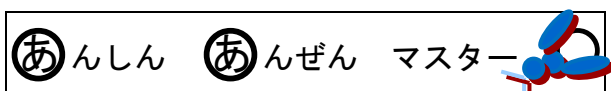
そして、ランチルームで、いよいよイベント開始。

挨拶等の後、クイズ！もっとホタルを知ろう！ 「ホタルの幼虫はどっちでしょう？」→①？②？・・・

おやじの会メンバーで、このイベントを担当されている鳥居修馬さんが、子ども達のために準備してくださったクイズをみんなで楽しみました。

クイズの後には、グループに分かれて観賞場所へ。その前に、京都工芸繊維大学の学生さんからルールの説明を聞きました。今回は、「めざせ！あんしん・あんぜんマスター！」ということで、予測される危険への対処を身に付けることも目標とし、ヒヤリハット体験を組み入れました。そして、それがクリアできたら、子ども達のリストバンドにシールを貼ってもらえるのです。

㊦と○がシールです。全部貼ってもらえたら、下のようになります。



おやじの会メンバーの方が先頭に立って、グループごとに出発。最終地点まで誘導していただきます。

最初のヒヤリハットは、自転車。夜道に自転車が来たら、避けること。これができて㊦の赤色のシールを貼ってもらいました。これで、「㊦あんしん」



次は、落ちやすい溝。ここには、学生さんに立っていただき、溝に落ちないようにしていただきました。そして、注意して通れたら、次の㊦の緑色のシール。これで、「㊦あんぜん」

最後は、最終地点。ホタルを観て、金色のシール○。これで、「マスター○」。ホタルが光りました。



最終地点では、ホタルが飛び交う様子を観ることができました。

おやじの会のメンバーの方、下鴨警察署の警察官の方、京都工芸繊維大学の学生さん達に大変お世話になりました。

安全に楽しくイベントを終えることができました。ありがとうございました。

生き物とふれ合って

～「ヤママユ」の観察～

3年生



6月7日（火）京都工芸繊維大学の齊藤準（さいとうひとし）先生をお迎えし、虫の世界について教えていただきました。3年生は理科「こん虫をそだてよう」の学習に取り組んでいます。

齊藤先生は毎年、松ヶ崎の山に生息する「ヤママユ」を校内に展示し、子どもたちが身近に観察できるようにしてくださっています。今年も、本館2階の東側に、「ヤママユ」を展示してくださいました。そして、ヤママユの餌も運んでくださいました。

今はちょうど終齢幼虫が美しい薄緑色の繭を作ってさなぎになっていくところで、子どもたちは朝学校に来るとヤママユの様子を熱心に見ています。

この日の特別授業では、地球上の虫についてのお話にはじまり、ヤママユやカイコ、そして、虫とともに生活してきた人間の生活についても語ってくださいました。

ヤママユからできた生糸は、うす緑色が鮮やかでとてもすばらしかったです。また、たくさんの標本を見せていただいた子ども達からは、たくさんの質問が出ました。世界各地で生息するヤママユの仲間の標本には、「先生はどうやって世界中のヤママユを集められたのですか。」という質問が出ました。「私一人で集めたものではありません。世界中の研究者と協力し合って、情報を共有したり、たまごやさなぎを分け合ったりしています。みなさんも、自分一人ではなくて、友だちと協力し合ったり助け合ったりして、楽しく学習してってください。」とおっしゃいました。

また、お勧めの本もいくつか展示し、紹介してくださいました。

文一総合出版 「イモムシハンドブック」
文一総合出版 「イモムシハンドブック2」
文一総合出版 「イモムシハンドブック3」
文一総合出版 「虫の卵」
文一総合出版 「繭ハンドブック」

・
・
・

研究されている先生から直接お話を聞いたり、実際に見せていただいたりすることは、子ども達にとってとてもよい勉強になります。

3年生は、「松ヶ崎の山へ行こう」（総合的な学習の時間）の学習をしています。山へ出かけた後、一人一人が調べる課題をもちました。その中には、「ヤママユ」を取り上げた子ども達もいます。先生からお話をいただいたことがきっかけとなったのでしょう。

齊藤先生、お忙しい中、特別授業をしていただきありがとうございました。